

今泉新会長を選任

日合協

日本アスファルト合材協会（石津健光会長）は、東京都千代田区の手町サンケイプラザで第11回定時総会を開き、2021年度の事業・決算報告と22年度の事業計画、予算を承認した。任期満了に伴う役員改選では、今泉保彦氏（前田道路社長）を新会長に選任した。



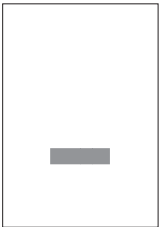
会合の最後にあいさつした今泉会長は、コロナ禍やウクライナ危機、原油価格の高騰といった課題に直面する環境下であっても、高品質なアスファルト合材の安定供給を通じて「脱炭素化や国土強靱化、防災・減災に向けた取り組みを加速化・深化させることが重要」との考えを示した（写真）。

また、「道路は社会経済活動、国民生活の基幹を支える社会資産」と強調した。

22年度事業計画には、計画的連続休日の取得やアスコン発生材流通システムのルール化、アスファルト混合物の持続的循環を目指した再生利用に関する共同研究、機械式フォームド技術を活用した中温化混合物の製造・施工に関する共同研究などを盛り込んでいる。

（6・2）

2022年06月03日 002面 01版 No. 11



建設通信新聞